

遂に大衆党支持取消を決定し此の声明書を發表するに至つた。

聲 明 書

既に實質的に演説に類せる全国労農大衆党の大会を静觀せるに定幹部は同一行動方針書の説明にも拡大委員会と大会とに獨り眼の如くに支障し如夫のその無き見と無方針を暴露した。

斯の如き党はその指導精神の喪失の故に、日本の客觀的諸條件を基礎とする頭腦なる闘争方針を規整し得ず、口口先ばかり共産党であると云へども其の実行の勇氣なく、愚面人を驚ろかし、宣伝と實名に没々たる選挙党に過ぎず、一時的共産党の権柄である。日本の切迫した民衆の生活苦はかるゾウダラな党の行動を容認すべく余りに急直してゐる。

然るに党は支配階級に對する決定的闘争をせり、無産階級神意肉の連盟と悲口によつて僅かに自己の存在を示さんとす。全国労農大衆党のお先と稱をかつくことは労働組合としても絶対に御免を蒙むるものであり、現限りをこへるものである。今や日本の国情と民衆生活の窮迫は刻一刻全國民的規模に於ける突発的の在闘争に依つて派費と腐敗を重ぬる現在社会を改革し、統制ある社会主義日本の建設に党

は希望され且つ生れんとして居る我々はその重大使命を無聯合のみによつて成さんとするものでなく、無産階級の一翼として忠実にその任務を遂行せんことを誓ふものである。

茲に日本労働組合総聯合組合政治特別委員会の決定に基き正式に全国労農大衆党の支持を取消す。

右声明す。

一九三一年十二月十二日

日本労働組合総聯合

関西聯合執行委員会

統一して神戸聯合会執行委員会も此の声明書を發表して関西聯合会の決定を承認した。

全国労農大衆党支持取消に關する声明書

吾が日本労働組合総聯合兵庫縣聯合會は此の如き理由を以つて茲に全国労農大衆党の支持取消を声明す。

現下の日本の政治的経済的情勢は全く救ひ難き行詰に直前し労働者農民はもとより全国民大衆を奴隷的生活情態に陥れつつあるが、る情態下に於いて吾等